

な が や ま っ 子

校訓 「広げようやさしい心 きたえようじょうぶな体 育てよう学ぶ力」

龍ヶ崎市立長山小学校学校だより

令和7年9月5日 No.10

仲間とともに学ぶ

今年度の本校の重点の一つに「支え合い、学び合う学習集団づくり」があります。現在の社会は、これまで以上に多種多様な価値観や文化、様々な人々が共存する時代となっています。ICTの発展により、国境を超えて、異なる背景や考え方をもつ人々と日常的に交流することができるようになりました。また、世の中には、答えが一つではない難しい問題がたくさんあります。そのような問題に対して、多くの人と協力し解決していかなければなりません。そのためには、相手の話を聴いて多様な考えを認める力、豊かなコミュニケーション能力、問題を多角的に捉える視点が必要です。本校では、日常的にペアやグループでの学習に取り組み、このような力を育てていきたいと考えています。

教職員の研修テーマを「子供たちの表現力を高める授業づくり ～ペア・グループでの学び合いの充実を目指して～」と設定し、ペアやグループでの学習活動の一層の充実に向け、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に取り組んでいるところです。8月5日（火）には、龍ヶ崎市教育委員会指導課の山中指導主事、大貫指導主事を講師として招聘し、「単元・授業をデザインする力」をテーマに、市全体の児童生徒の課題等を把握するとともに、授業づくりに向けた研修を行いました。

市教育委員会指導課のHPにも掲載されているように、令和6年度全国学力・学習状況調査の結果からは、本市の児童は「根拠を明確にして自分の考えを書く」等の記述式の問題で無解答率が高く、書く力に課題があることが挙げられます。

そこで、書く前の段階で、自分の考えを十分に耕すために、ペアやグループを活用して、自分の意見や感想を伝える（アウトプット）、友達の考えを聞く（インプット）、自分の考えを再構築して書く（アウトプット）等、インプットとアウトプットを往還しながら思考が深まるような学習を進めています。

これからも児童がペアやグループでの学習を通して、主体的な学び、対話的な学び、深い学びが実現されるよう授業改善に取り組むとともに、これからの社会で必要とされる様々な力の育成を目指していきたいと考えております。



龍ヶ崎市の「令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について」は、市HPに掲載されています。

<https://www.city.ryugasaki.ibaraki.jp/kyoiku/kyoiku/kyoikuiinkai/kyoiku/toukei/gakute.html>

また全国学力・学習状況調査の結果に関する資料は、国立教育政策研究所HPに掲載されています。

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>